



港区・芝公園 / Shiba-park, Minato-ku 2019



札幌市大通 / Odori, Sapporo-shi 2022

移 住

Keiji Tsuyuguchi

露 口 啓 二

移住

Keiji Tsuyuguchi Photo Exhibition
露口啓二 写真展

2025年6月21日[土] ▶ 7月6日[日] (火~金休廊) **入場無料**

土曜日：12:00~18:00 / 日曜日：12:00~17:00 / 月曜日：19:00~21:00



Gallery TALK 6月21日(土)14:00~
ゲスト：倉石信乃

会場：Zolin Gallery

北海道札幌市南区澄川5条12丁目11-17

<https://zolin.biz>

露口啓二 [Keiji Tsuyuguchi]

1950年徳島県生まれ。1990年代末より、北海道の風景と歴史に着目した写真シリーズ「地名」の制作を開始。2011年、東日本大震災の年より営為と自然環境への視線から「自然史」シリーズの制作に着手。2014年第一回札幌国際芸術祭に、映像と写真のインスタレーションを発表。2018年「自然史」シリーズを「今も插れている」展(横浜市民ギャラリーあざみ野)に出品。同年「地名」シリーズを「さがみはら賞受賞」展出品。2020年「地名」と「自然史」を「道草」展(水戸芸術館現代美術ギャラリー)に出品。2021年「The world began without the human race and it will end without it」展(国立台湾美術館)に出品。2021年より2023年まで、映画『Wakka』に撮影監督として参加。写真集に『自然史』(2017)『地名』(2018)『移住』(2024)がある。2025年日本写真協会賞作家賞を受賞。

倉石信乃 [Shino Kuraishi]

1963年長野県生まれ。詩人・批評家。明治大学理工学部総合文化教室教授。単著に、『反写真論』(1999)、『スナップショット 写真の輝き』(2010)、『使い』(2018)、2025年4月にはインスクリプトより『孤島論』を刊行。共編著として、『東日本大震災10年 あかし testaments』(2021)、『明るい窓 風景表現の近代』(2003)、『失楽園 風景表現の近代 1870-1945』(2004)。他に寄稿多数。シアターカンパニー ARICA メンバー。

協賛：北海道開拓写真研究協議会 / 長万部写真道場研究所

後援：SANON design / WOOD LINK furniture & gallery